

特別展「桃山—天下人の100年」

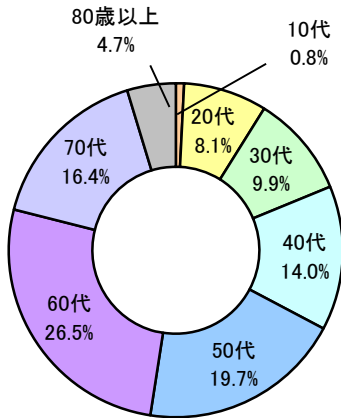
アンケート集計結果

開催期間：令和2年10月6日（火）～令和2年11月29日（日）（48日間）

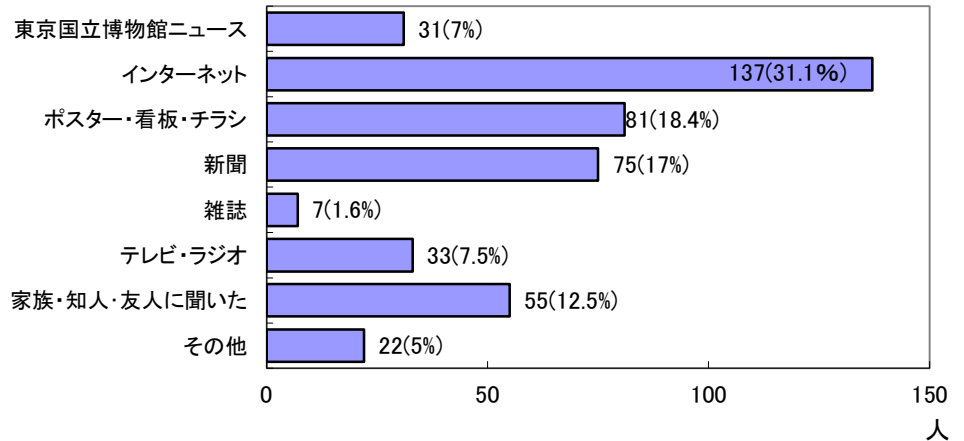
総入館者数 82,068人

回答者数：388

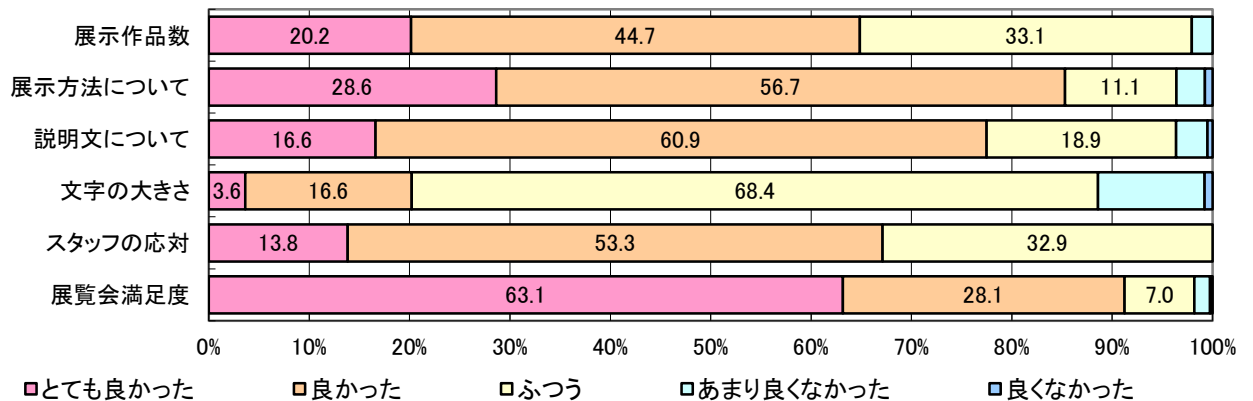
① アンケート回答年齢層



② 認知経路（複数回答）



③ 展示に関する満足度



④ 主な意見・感想

- ・ 事前予約（日時指定券）のため、ゆっくり観覧することができて非常に充実していた。
- ・ 教科書で見たことのある名品揃いでとても見ごたえがあった。
- ・ 行灯型ケースの展示が多く、360度作品を見ることができ分かりやすかった。
- ・ 古文の概略説明が欲しい。
- ・ 音声ガイドが欲しい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	2.1	0.0
展示方法	2.8	0.8
説明文	3.1	0.5
文字サイズ	10.6	0.8
スタッフの対応	0.0	0.0
展覧会の満足度	1.5	0.3

(%)

本展は、室町時代末期から江戸時代初期にかけての激動の時代に生まれた美術を概観し、美術史上「桃山時代」として語られるその美術の特質を、約230件の優品によってご覧いただくことを目的としました。そして激動の時代に、「日本人」がどう生き、どのように文化が形作られていったのか、約100年間の美術作品を一堂に集め概観することで、日本美術史のなかでも特筆される変革の時代の「心と形」を考える展覧会となりました。

新型コロナウイルスの影響により、オンラインによる事前予約制（日時指定券）の継続、観覧料金の高騰により入場者数は伸び悩みましたが、本展覧会を観覧しアンケートに答えた91.2%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことができました。これは多くのお客様が印象に残ったと回答された松林図屏風、洛中洛外図屏風、唐獅子図屏風をはじめ、本展覧会が量・質ともに非常に充実していたことに加え、事前予約制によりゆっくり1点1点、ご覧いただける環境であったためと思われます。

その一方で、観覧料金の値下げ、音声ガイドが欲しいというご意見が寄せられました。

今後来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に向けて参ります。